

ボランティアの心

須磨海岸で清掃11年

須磨海岸清掃グループ 梅谷正芳（国際2期）

須磨海岸の清掃ボランティア活動は、1999年（平成11年）7月12日よりスタート。海水浴シーズンの土・日曜は人出も多く、従ってゴミも多いということで月曜の早朝（8時35分）に活動開始することに致しました。活動範囲は海の家が無い場所（海の家周辺は業者がケア）を選定。国民宿舎シーパル須磨（赤灯台）より東へ向かって水族園の南西海浜、5本の椰子の樹近くの神戸市みなと総局東監視員詰所前までとしました。

嬉しいことには、門出となる8月2日（月）の活動ぶりを、神戸新聞出身の1期生の先輩のはからいで取材を受け、8月3日付の神戸新聞に写真付き記事として掲載されました。一同有難く感銘を覚えた次第です。当日参加は13名（1期生6名、2期生6名、3期生1名）でした。

拾うゴミで一番多いのはタバコの吸殻、そして飲み物の空き缶・ビンとペットボトルです。翌年から海水浴シーズン以外にも4～6月と9～11月の半年間



は、曜日を問わず各月末に清掃することにしました。朝の集合場所はシーパル須磨のロビーを提供いただき、清掃活動終了後は東監視員詰所でお茶を飲みながらくつろぎの一刻をすごさせて頂いております。ここから海上視界の利いた日には、関空の飛行機の発着や淡路東浦の観音像（高さ100m・神戸ポートタワーと同じ高さ）が見渡せます。また紀淡海峡の友が島もはっきり見ることができます。

数年前のことですが、湘南海水浴場が冷夏に見舞われ、救命士ボランティアの活動が縮減された折、その余力を須磨海水浴場に注ぐと、有志メンバーが須磨まで出向いて頂いたことがありました。須磨海水浴場が関東の方にも、素敵な海岸という認識を持たれて頂いていることは嬉しいことです。そして今年の5月20日にはグループわ第7回定期総会で、私たち須磨海岸清掃グループが優秀団体として選ばれ表彰の栄に浴しました。改めて厚くお礼申し上げます。（写真は猛暑に負けず活動するメンバー・今年7月）

活動レポート

摩耶山へ納涼登山



盛夏真っ只中の葉月4日、中央区会の有志14名（女性4名・男性8名）で摩耶山登山を楽しんだ。阪急三宮東口バス停から9:27分発の阪急六甲行きバスにて出発。六甲ケーブル、ロープウェイと一気に乗車。



途中、上りロープウェイの逆方向を見ると眼下に神戸港、明石大橋が一望できるが、あまりに快晴だと少しボヤッとする。約40分で三宮からロープウェイ山頂に到着。ここでも展望台より眼下の神戸港を望む。さらによく見えて満足。

すぐに六甲牧場に入る。通常、山の気温は体感温度差で3度くらい低いですが、本日は市内と変わらぬ暑さ。放牧された羊達も暑さのせいで人の通る道端や溜りの木陰から木陰へ移動。そこでじっと辛抱している風情。野菊、ダリア、コスモスの類もグツタリ。すべて生き物、皆人間並みで暑さ寒さは同じか。

途中、水のがぶ飲み、カキ氷のかき込み、チーズ工場の見学等々、思い思いに暑さをしのいだ。正午前、昼食のできる適当な場所探し。40分程度の食事休憩のあと解散。折角だからと区会長と2人の方は別ルートを散策。その他大勢は一目散に阪急六甲行きバス停に急ぐ。何が何だかわからぬまま暑さだけが印象に残った山登りだったが、一応のコースは終了した。これも善しとする。なにとはともあれ、高齢者全員が無事であったことが、一番の収穫か。最後に国光とし子さんの一句。

「ボランティア束の間の山歩き」

（中央区会・久保正志）